

横浜市脱炭素社会の形成の推進に関する条例に 基づく令和 6 年度の実施状況について (道路局関連部分)

目次

- 1 基本方針 6（市役所の率先行動）における指標の進捗状況
- 2 令和 6 年度の主な取組

1 基本方針6（市役所の率先行動）における指標の進捗状況

【報告書掲載頁：43頁】

- ・2023（令和5）年度の温室効果ガス排出量は、2013年度比58.6%減の1.41万トンとなりました。
- ・2024（令和6）年度のエネルギー消費量は、2013年度比58.4%減の265TJとなりました。

<温室効果ガス排出量及びエネルギー消費量の状況>

上段：実績、下段：削減率（基準年度比）

主な指標	基準値 (2013年度)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
温室効果ガス排出量[万t-CO2]	3.39	1.84	1.64	1.41 (▲58.6%)	—
エネルギー消費量[TJ]	637	401	359	290	265 (▲58.4%)

1 基本方針6（市役所の率先行動）における指標の進捗状況

【報告書掲載頁：43頁】

- ・2024（令和6）年度は、道路照明灯等でLED等高効率照明の導入を進め、LED化率は98%となりました。
- ・太陽光発電設備の導入の取組及び一般公用車の所有はありません。

<対策の取組状況>

主な指標	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
LED等高効率照明の導入	88%	89%	92%	98%
太陽光発電設備の導入	—	—	—	—
一般公用車における次世代自動車等導入	100%	100%	—	—

<職員の取組>

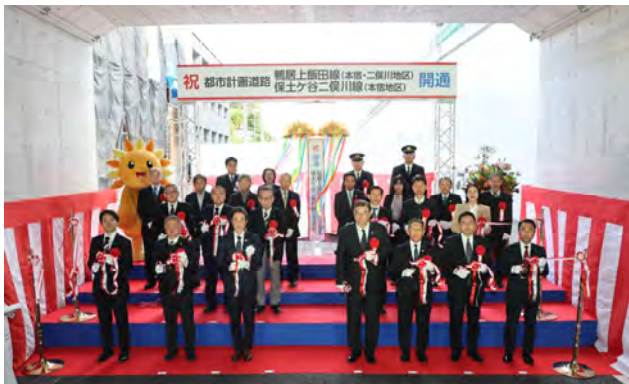
- ・「横浜市グリーン購入の推進に関する基本方針」に基づき、環境に配慮した物品の調達等を進めました。
- ・会議や打合せにおいて、プロジェクターやディスプレイを活用するなど、ペーパーレス化を推進しました。
- ・全職員を対象とした環境研修を実施し、温暖化対策の取組に対する理解促進を図りました。

2 令和6年度の主な取組

基本方針2 脱炭素化と一体となったまちづくりの推進

5 道路・鉄道ネットワークの整備、公共交通の利用促進・低炭素化【報告書掲載頁：13頁】

- 交通流の円滑化を図ることによる自動車からのCO₂排出量の削減に向けて、都市計画道路の整備を進めました。令和7年度には11月に鴨居上飯田線・保土ヶ谷二俣川線が開通し、令和8年3月には川崎町田線の開通も予定しています。引き続き、道路ネットワークの整備を進めていきます。



鴨居上飯田線・保土ヶ谷二俣川線 開通式



鴨居上飯田線 開通状況

2 令和6年度の主な取組

基本方針2 脱炭素化と一体となったまちづくりの推進

6 シェアサイクルなど自転車利用の促進 【報告書掲載頁：13頁】

- 回遊性の向上による都心部活性化や脱炭素化への寄与等を目的として民間事業者との協働により「横浜都心部コミュニティサイクル事業」を実施しました。
- 公共交通の機能補完や脱炭素社会の形成などを目的として、民間事業者との協働により都心部を除く市域で「横浜市広域シェアサイクル事業社会実験」を実施しました。令和7年4月より、市内全域を事業区域とする「横浜市シェアサイクル事業」として実施しています。



シェアサイクル利用状況



シェアサイクルポート設置状況

2 令和6年度の主な取組

基本方針2 脱炭素化と一体となったまちづくりの推進

6 シェアサイクルなど自転車利用の促進 【報告書掲載頁：13頁】

- 環状4号線などのネットワーク路線について、自転車通行空間の整備を実施しました。引き続き、地域間を結ぶ幹線道路等のネットワーク路線や自転車利用の多い重点エリアについて、自転車通行空間の整備を推進していきます。



自転車通行空間整備（環状4号線 瀬谷区）



自転車通行空間整備（環状4号線 泉区）

2 令和6年度の主な取組

基本方針7 気候変動の影響への適応

3 熱中症・感染症等分野の適応策の推進 【報告書掲載頁：70頁】

- 夏の日差しを遮り、通行中に涼しいと感じる木陰の確保のために、剪定士の指導のもと、適切な剪定を行い、街路樹の健全な育成に努めました。引き続き、歩行者にとって快適な空間づくりを目指していきます。



木陰の確保（日本大通り）



木陰の確保（新横浜駅）